

報考 二  
供覽

軍務局

艦政本部

第一 第二 第三 第四 會

部 部 部 部 課

明治四十四年十二月二十九日 支那の天津航路

森田世保少將團長

野田少將

野田少將報告 第三

廿八日 雨 無風 海上靜

作業各回七ノ如シ

一 天候ノ収容

村松日津雨ノ多ク 氣強カシメ 海女ノ熟成ニ作業

下天候 辛天候

Various circular stamps and handwritten notes in the left margin.

0709

12-6

12-6

合計参り(収容)

橋本中尉下士迄名六平武名ノモノ未ダ発見出来ズ

一 水雷艇ノ海面搜索

六十七號七土號艇ノ大艇(如)行動ニ付近海面ノ搜

索シタルモ漂流物等未ダ得シタルモノナシ

六十七號七土號艇搜索行動

(是任艇長高橋大尉報告)

午前八時半安果崎ヨリ沿岸ヲ搜索シ機艇(六土號艇)

ノ来ルヲ待ツ 今十時機艇ト連合シ横濱(前場)ヨリ

来突(トナリ)大王崎ニ至リ先言南東ニ方針シ大王

崎ノ南東ニ平直ニ進出シ先言ノ安果崎燈

(要領略記)

三、艦内の変針取港（島羽）に於て取得したるモノナシ

三、潜水器ノ作業

富士艇匠部員三名、特設監督ノ下、春兩士古島に

入り、洋行、軍機商標ノ引揚、勉メ、春兩士古島に

海威暗トシテ作業意、如ク、軍機ノ帆布（表）

洋行、自軍機（表）一、二、外、重要トシテ、取得シ得ズ

更ニ、天候攪索、目的ノ達シ、業、自軍機ヲモ、搜

索セシメタルモノ、自軍機ニ比シ、更ニ、暗黒ニシテ、得ル所ナシ

四、島羽造船所員ノ作業

上甲校大砲取揚作業、従事シ、船尾、特設一、内、取

得タリ

0711

五. 地方官民ノ盡力

前副司令志摩郡長、島羽警察署長、長岡安  
東村岡村長等重き官公吏ハ續々奉送スル  
遺族ノ送返等ノ尽力シ津警署署ノ神丸丸  
島羽送船所、第十島羽丸ハ終日未嘗停泊大津ノ  
使役ノ便也

又津市伊勢新聞ハ廿六日一巻兩週報、対し平  
財金ノ募集ノ開始スル新聞紙上、見スル  
遺族ノ奉養ノ詳

渡辺中軍區見奉養 二宮中軍對親族遺  
骨携帶出發ス

六  
二十一日中之大森村の  
大ノ如シ

司令 大森中伏

野長 鬼平大尉

下士卒共七名

討共ノ名

ノ  
討共ノ名

莫大ノ寺 二子馬

長周村長根井宗太郎

敷島 百五十四

三重縣会

葉書 百枚

長周村大字町地区

生野菜 一船

合本

禱 二十枚

長周村神明禱 家田九兵衛

社名簿 道

0713

全徳田

神明村青年会

九重の慰問者

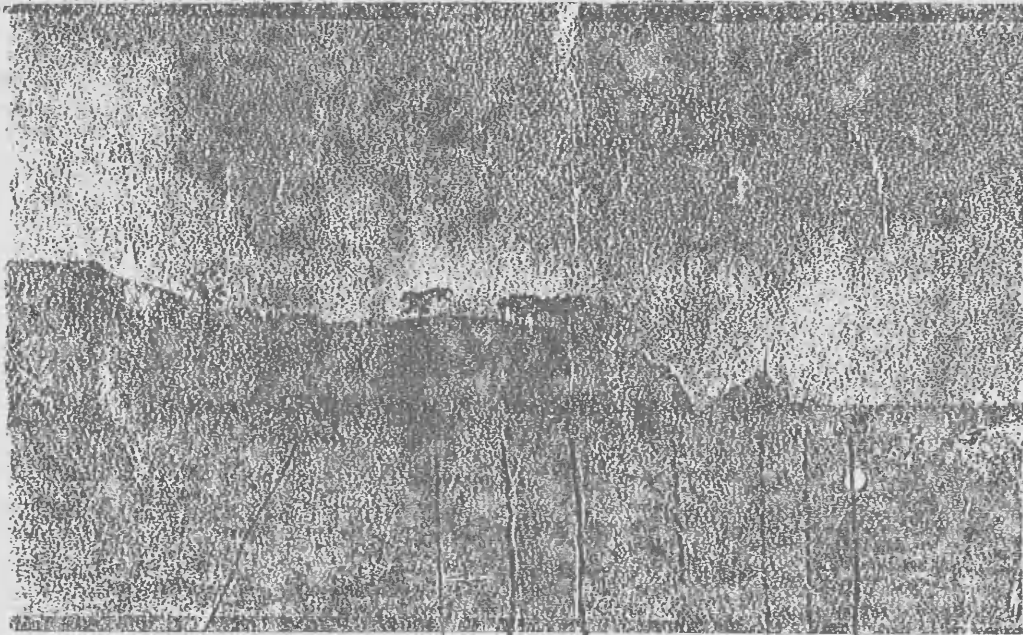
三重縣会副議長

一。春兩坐席、秋懸ノ次首及、昨其保横領莫、願身村  
参謀長、報告、救助者ノ送致横領莫、願身村  
セラル、義ニ付キ大臣、廣報上申一ス

(終)

報告先

海軍大臣、佐領参謀長、横領参謀長



岩

上ノ島真ニ十七日申干潮ノ時合ニ於テ  
磯波平由申封ノ撮景ノ原ル

探取燈臺

通風筒

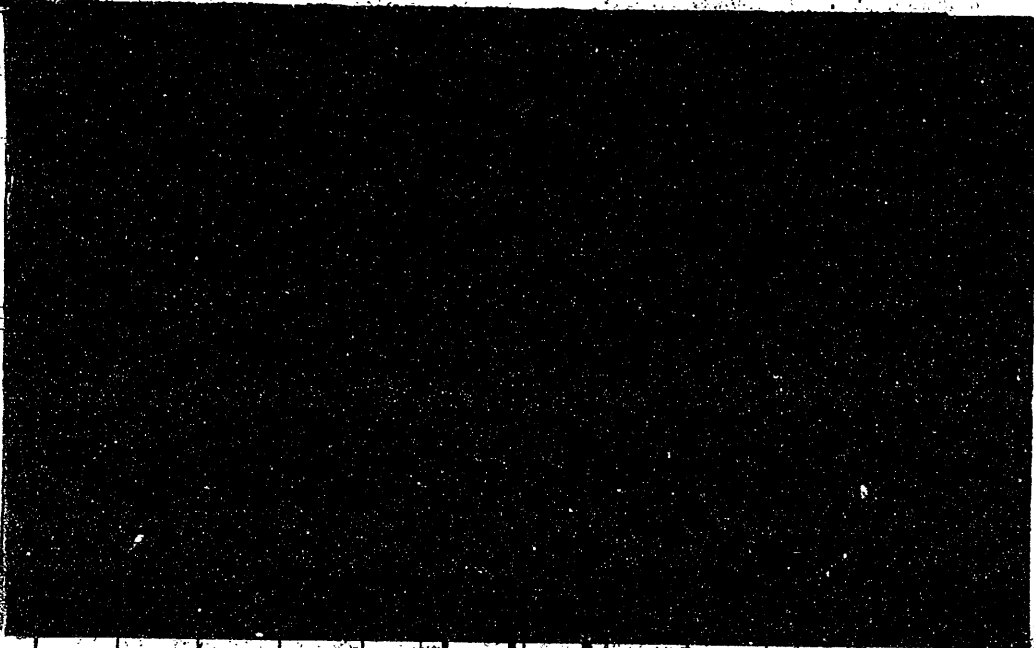
無線電信室

橋ノ折シ

船橋突起物

船首三時砲

0715  
0715-2



卷之三

續編文意助

梅井

東海道

圖

撰

清水作重及流傳後書

上ノ寫眞ニテハ可略千潮ノ場合於テ

成化辛酉年ノ撮影ニ係ル

岩

0715  
0715-2





供覽

和書

軍務局

和書

新

和書

和書

明治四十四年十一月三十日

和約矢港機造

森伏吉保水雷團長

野島海軍少佐

局員(森伏)春兩遭難救護ニ関スル報告(第四)

廿九日 晴 北西ノ風一乃至二

本作業全過次ノ如シ

一 死体ノ収卷

連日ノ溜水ニ罹ル者ハ百余名ノ海女(早朝)遭

難場付近ニ参集シ熱心搜索ニ従事シ結果漸ク卒ニ

名ノ死体ヲ収卷スル得タリ(本死体ハ海岸局廣中ニ存

和書

0717

在センア海女が捜索中其臭気ニ依リ発見セルモノナリトシテ  
 死体ノ未ダ発見スルヲ能ハサルモノ 橋本中尉下士姓名ヲ  
 名ニシテ 橋本中尉下士姓名ノ親屬ハ廿七日ヨリ当地未  
 着其ノ死体ノ発見ノ時ヲ俟テモ未ダ発見スルニ至ラス  
 左掲ニ堪ヘサル次第ナルヲ以テ長岡村青年團隊ハ管轄  
 附近山中ヲ捜索セシメ 発見スルヲ能ハザリキ。

ニ 水雷艇ノ海面捜索

六十七號七十一號艇大尉予定ノ如ク行進シ附近海面ノ捜索シ  
 タルニ漂流物等収得シタルモノナシ 午後四時三十分迄ハ補充ノ  
 タメ島頭ニ入港ス

六十七號七十一號艇捜索行動予定 (先任艇長高橋大尉報告)

0718

安原崎燈臺ノ南火棗約千准ノ地定ニ至リ夫ヨリ神島  
ニ向テ次ヲ加布良古水道附近ヨリ沿岸ニ沿テ搜索シテ  
故港

ス

三 威波船長海軍大尉小川正冬ニ二十九日付テノ通リ兼務ノ

命ス(令報告済)

海軍大尉 小川正冬

東三郎 船長 兼務ノ命ス

春田 船長 兼務ノ命ス

四 横須賀鎮守府参謀長ヲ大ノ度持使ス

春原 参謀長 兼務ノ命ス

宣

0719

0  
✓

海軍

坂幸工廠長の主任として直に着手、甚しき不取敢技術者ノ  
栗梅丸ノ乗取真地ノ位置ノ現状調査ヤシメラルトナ  
リ。

人事局員ヲ大ノ電報ヲ送ル。

春兩死亡者中東京ヲ海軍葬儀施行希望ノモノ唯

十ルヤ分ノ得ル限リ知ラセタム。

右チ依リ大ノ通リ送電ス。

東京ニ於テ葬儀施行ノモノハ大流ヲ令ノミ。

五 潜水器ノ作業

富士艇匠部員三名ハ将校監督ノ下ニキトシ士官室及

其附近海感ニ於テ軍械書類ノ捜索ニ従事シ収得セシモノ

0720

大、如シ

一、海軍信辨書 第三編 軍機審辨不明

表紙より内書に亦七失、部多アリ。

二、無線電信通信規則 (司令用)

一新設断七史ニ断アリ。

三、無線電信規則

一新設断七史ニ断アリ。

四、海軍信辨書 附編 海軍機密上ニ断アリ 219.

五、無線電信機法令

六、無線電信規則草案

0721

六、島羽造船所復旧作業

艦首二耐旋、一、二、三、四番六所旋計五ヶ所、取外シテ終リ

以上春兩月、取外シテ大成、島羽造船所ヲ備入ルル大和艦以

込納保存シテ

七、地方官民ノ尽力

島羽警察署署長、志摩郡書記、長岡、安業、山村長等、尽力

兼十島羽丸、神丸丸ノ水場使役ノ便ヲテ、前日、奥ノ

又、安岡婦人会三度支、新主事、年田口宗六氏、島羽町錦

浦、船、遭難者遺族休慰所ヲ設置シ、ルニ付、此等遺族

ハ、通知セシメ、キ旨申出シタリ

0722

八遺族ノ来住

現玉大尉遺族一行、渡辺中軍區又遺骨携帶先發ス

遺骨携帶先發ス

現大尉遺族安楽村ノ先發ス、傍ノ全村ノ生徒生徒

海岸に遺骨

九、二十六日中之火葬

吉田中軍區

渡辺中軍區

行徳城司令官長

本港名

計四名

0723



収養不侍、遂に有敗、頗る中、及了、火葬、此に致す

九、十

十、慰問書贈只

醬油 一樽

長岡村物事十等  
社日社  
瀬崎楠太郎

菓子 二斤

一、司、東京、高田、常長、男、海、常盤井、芝、原

巻柑 二百個

志摩郡上神村後場

合打 二箱

平楽島尋傳八學校

岩巻 二箱

志摩郡平楽島

菓子 廿斤

志摩郡下郷燗風會

全参田

志摩郡穴川区青年彰功會

全参田

七、志利原青年愛郷會

0724

|                  |              |
|------------------|--------------|
| 金五円              | 愛国婦人会宇治山田幹事部 |
| 金五円              | 大 度会部        |
| 金五円              | 三重会度会部振武会    |
| 金五円              | 宇治山田中振武会     |
| 上                | 重光啓          |
| 高田清長 田中律義 井上照代 人 | (終)          |
| 数葉               |              |
| 海軍法友 佐野孝徳 横領秀雄 長 |              |

0725



明治四十四年

録

陸

軍務局

艦政本部

人事局

明治四十四年十一月一日

防的支港威波

森佐母保尔雷團長

財部海軍省

駐米艦隊司令官

三十日

第一

第二

第三

第四

第五

第六

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a report or log, containing various entries and dates.

陸

三 12-9

12-9 0727 12-11

減らしキヨクはノ置キルハ人尋乃至十五尋ノ海底ノ海水  
 ン得ル熱線ノモリヲ選定シ早朝ヨリ作業ニ従事セシ  
 ノリ其敷面名ヲ下ス安業村ノ如キハ村費ノ及  
 フ天侍一人ニ付キ五日ノ懸賞ヲナシ其地場ノ墾闢  
 一ノ措カナ斯ノノヤキ熱誠マ遂ニ其甲斐ナク本  
 一ノ天侍ノモ収養スル能ハザリキ  
 又長岡青軍國隊ノ昨ヨリヤキ若坊村近山中ヲ搜  
 索セシメ之ヲ獲見スル一能ハザリキ  
 一 水雷艇ノ海面捜索  
 六十七号、七十一号艇ハ大高ノヤキ行軍ノ附近海面ヲ捜索シテ  
 毛藻流物等収得ス能ハザリキ

(海軍部編纂部)

六十七號七十二號航行動報告

(先任船長高橋大尉報告)

午前十時菅島水道ノガレ渥美半島大山ノ向ニ航行シテ船重  
増大ナリシモノヲ辨別ノ南方ニ針路ノ大半岩ノ向ニ航行セシテ  
八浪強キモノ搜索ノ中先午前十一時三十分ニ船の矢ノ放港  
ス

六十七號船、明日未着ノ故幸ニ廠長ヨリヒトシテ午後鳥羽ニ

回航ス

三、瀕水器ノ作業

信置船匠新復ハ昨三十分迄ニ着雨士召室ハ其附近ノ浪ヲ  
機素シ最厚其附近ニ何物ノモ茂見スル一隊ナリト至リ

海軍

|  |   |
|--|---|
|  | ライト本口下前ハ一區只負盛ニシテ兵隊ノ捜索シテハ甚<br>夏ニハ能ハク下後ハ准士官等ノ入テ被服等ヲ収得セ<br>リ |
| 四 島羽造船所真ノ作業<br>引キ上ケテ船體モノ大ノ如シ                                   | 一 幾射管 一門 (夏雷装填ノ終)<br>他ノハ幾射管ハ船体后部ニ敷カレアルヲ以テ作業               |
| 二 探照燈 三<br>因難ニシテ引キ揚グルニ難ハサリキ<br>三 探照燈 三 (ロビンズハ破損シタリ)<br>三 探照燈 三 | 三 探照燈 三   |

(機中係 船機食部則)

0730

五、地方官氏、尽力厚意

前日、是より

先ず、死体ノ収葬シ、月下遺骨ヲ収葬シ、  
初七日、故郷ノ盛ニシテ法事ノ儀、  
如貴村民ノ学校生徒

等々 押田

又、慰問等類

慰問袋

葉書

鉄線

押田 栄

七十九

七十七回

長岡村 学校生徒

葉書

五十枚

長岡村 学校生徒

大田 栄之助

金共田

赤井 邦 鏡 浦 俊 行

金八回 十六銭

皮術 学校 湯地 大田 以下

0731



七 栗橋丸千餘三時三十分入港 倉野送船中監職上四十五名

技手三名 漕火番木口 材料ナ年ノ乗船ノ全船ニ附

水番六 材料若干ノ搭載シマシ

馬込直ニ春雨ノ朝番ノ着手ス

右ノ旨直ニ成未保 領与付長官ノ電報ス

(終)

報 告

海軍大臣 加藤 参謀 横領 参謀 長

0732

供覽

海

軍務局

人事局



明治三十四年十二月三日 北の支港磯波

森佐舟保水雷團長

財部事務官 敬



海軍省南遣難救護二周之報告 (第七)

十二月三日 曇夜雨 暴風

一、六十七號七十一號水雷艇は午前六時頃大正岩付近に漂着

後々舟に数ヶ潮流其他風向等付中間に何れ此付

近潮流の強弱は若し天候、海況等により

外海に達し漂流より大正岩付近に漂流スル

者ナリと終日其附近海面に遊弋搜索の結果取得セ

三三

0733

大ノナレ

又村民ノ厚意ノ以テ遭難場村匠ノ前日知ノ小舟約二十

隻ヲ曳船搜索セシメ收得セシモノナリ

富士船匠部員ノ事ニテ春兩船停村匠海島ノ搜索

從事シテ中前十時頃岩礁ノ際ノ下士五名一々見取

卷ノ

二 此等官民ノ各力前日ノ果テラカ

二 財同善贈品

金参回 山田市神都婦人會

金武回 山田市二俣青年熱心會

金共回 寺津山正福寺

(佐賀県 海軍部)

0734

御書 御書 寺崎山正福寺

御書 御書 寺崎山正福寺

四、 庄在保水備園村大津村山田基純等上、是邊承付申計  
三宮米三郎、職務執行命迄奉日東着不

五、 江頭人事局長、春兩死没者及夏新着、六、丸八祭

案料又、御書賜葉子料下賜相成機取計、令

付死没又、行御不明者、確定、認違、上、葬儀施

灯町、其跡、雖會、八、付、公、明、大、漢、其、官、氏、名、至

是、置、報、之、八、旨、雖、令、八、以、ラ、言、調、ノ、以、ラ、右、ノ、對、之、

御書ノ提、出、ス

別、紙、御、書、奉、度、付、ス

0735

六 大船中北華儀東京ニ於テ施行方ノ件大田ニ上申中ノ違本  
日産報ヲ以テ認許スル

十月五日 晴 北西風一

一 六十七號七十一號水雷艇前日今日ノ大田附近海面ヲ搜索

スルニ取得セシモノアリ又約二十隻ノ小舟遭難場附近ヲ搜索

スルニ昨日ノ如クナリシニ之亦取得セシモノアリ

前日水雷艇及小舟ノ残骸搜索ニ明瞭ニ取止メテ水雷艇ノ

残骸検索スルニ故港ニシテ

二 地方官民ノ尽力アリ

三 財力等豊富

(佐世保 船政會館)

0736

|                            |                            |            |                          |                                    |                |                                      |             |                           |         |
|----------------------------|----------------------------|------------|--------------------------|------------------------------------|----------------|--------------------------------------|-------------|---------------------------|---------|
| <p>松村 武吉田 安樂村法無庵 羊河村松巖</p> | <p>金武女五田 志摩郡登志 挑取菅原 神德</p> | <p>如茂村</p> | <p>又之重親幸務官山宮那財同ノミ未經ス</p> | <p>四 會無匠部身ノ本百夜ノ河ノ作業ノ中出ノ白岩港ノ集一院</p> | <p>寺ノ便策復設ス</p> | <p>五 当地北ノニ 運務結了スルナ合ノミ上京ノミナ年大里ノ一院</p> | <p>敷一持ス</p> | <p>六 坂本三麻長本百火發故横ノ道ノ敷ス</p> | <p></p> |
|----------------------------|----------------------------|------------|--------------------------|------------------------------------|----------------|--------------------------------------|-------------|---------------------------|---------|

0737

附記

一、前報告に如く、春雨無休、船体破損、兵器高書等一切、兵器  
 只、栗橋丸、引渡しの間に、小川、東十、西、逐、河、台、代、理、野  
 中、並、石、井、他、ト、河、吸、送、マ、音、ヲ、以、テ、結、了、シ、又、四、十、四、名、ノ、兵  
 七、者、中、四、十、二、名、ノ、兵、隊、ヲ、既、希、見、收、養、シ、之、等、ハ、各、ノ、大、葬、ノ、  
 付、シ、其、外、カ、ノ、終、ノ、故、難、事、業、ニ、略、結、シ、ヒ、ル、以、テ、明、四、日、者、地  
 方、ノ、津、津、ノ、幾、大、陣、命、命、ル、上、京、ス、途、中、兵、隊、部、長、  
 山、田、重、十、郎、海、兵、三、重、殿、知、事、ノ、謁、訪、ス、ル、事、定、  
 二、天、津、接、地、者、ハ、此、際、至、意、ノ、要、ス、ル、付、キ、准、士、官、以、上、ノ、兵、直、接、  
 大、臣、直、達、シ、在、世、東、鎮、守、村、長、官、ハ、寫、シ、テ、以、テ、報、告、シ、  
 是、受、キ、ヤ、リ、復、報、シ、今、長、官、ノ、御、伺、ヒ、タル、是、受、キ、ヤ、リ、

(海軍部 艦隊部 附記)

送候より此より世に官以上より大臣に直接に遣下す事ノ  
 一ハ此後保領者村長官に遣遣ス  
 二 遺骨ハ遺族ノ持テ送ルル外ハ成法ニ在在保ニ持テ  
 各地ノ葬儀施行ノ事  
 三 尚ト堅固橋ノ立テ頃者此後幾ノ事  
 四 水邊更ノ死体ハ保主に送送者此後港迄ノ舟更先來サ  
 警備署長 村長以下 村吏等ノ業トシテ舟更ノ事  
 遣候ノ事納税明帳類ノ遣ハ小川ナニ送送者  
 令代 遺訓令ノ事  
 尚奉件ノ遺書ノ本職ニ重難知事ノ面今ノ遺書ノ依類ノ  
 遣ノ事定 各保領ノ遺書ノ遺書ノ依類ノ事

0739





寫

明治甲午年十一月三日 於的米港 殊汝

木林 佐世係水雷團長

江頭入事向長殿

聖迹艦着由乘船死没行衛不明身場着明細書

先主電報、以下報告せし莫敷、村々明細在る、通、  
一死没者

山 海軍官以上、部

中佐

大遊 道助

大尉

鬼玉 芳三郎

0741

海軍

中尉 副田三郎

機雷艇長 吉田 亮

中尉 渡邊 哲三

中士 三宮 米二郎

機雷艇長 行徳 興市

山下 部

一等兵曹 田崎 秀助

二等兵曹 下川 興三郎

全 若狭 水戸

一等兵曹 黒岩 定市

全 大木 慶六

(徳世保 魁成金印附)

0742



川卒ノ部

漢 年

全 集水夫

田中

全 坂井作次

坂井作次

全 津典中右衛門

津典中右衛門

全 野口嘉三郎

野口嘉三郎

全 中津留一郎

中津留一郎

全 朝倉国市

朝倉国市

全 鏑田雄一

鏑田雄一

全 東條義友

東條義友

全 横山良成

横山良成

全 川添港之助

川添港之助

(佐世保 魁成會印刷)

0744

|                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |   |                  |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---|------------------|
| 甘<br>世<br>格<br>名 | 一<br>等<br>主<br>厨 | 軍<br>機<br>頭<br>兵 | 左                | 軍<br>機<br>頭<br>兵 | 左                | 左                | 左                | 軍<br>機<br>頭<br>兵 | 左                | 軍<br>機<br>頭<br>兵 | 左 | 後<br>藤<br>嘉<br>七 |
|                  | 西<br>丸<br>繁<br>一 | 高<br>以<br>兵<br>一 | 洲<br>田<br>助<br>市 | 貞<br>松<br>助<br>市 | 護<br>水<br>彦<br>一 | 中<br>候<br>直<br>記 | 徳<br>丸<br>彦<br>義 | 内<br>水<br>政<br>員 | 續<br>藤<br>一<br>郎 |                  |   |                  |

0745

二行衛不明者 (士官迄末等死傷之発見不能也)

山准士官以上部

中尉

橋本房七

計名

山卒部

重兵

安部道男

計名

三、生在者

山准士官以上部

軽傷 女曹長

川倉藤三次

計名

(佐世保 慰問部)

|      |      |      |      |     |    |            |            |            |            |            |            |
|------|------|------|------|-----|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 山下士部 | 三平兵衛 | 山下源助 | 古賀徳市 | 計部名 | 卒部 | 重傷<br>重機園兵 | 重傷<br>重機園兵 | 重傷<br>重機園兵 | 重傷<br>重機園兵 | 重傷<br>重機園兵 | 重傷<br>重機園兵 |
|      |      |      |      |     |    | 史澤太八       | 榎木九市藏      | 安藤茶蔵       | 林田義男       | 白石萬作       | 平山勝己       |
|      |      |      |      |     |    |            |            |            |            |            |            |

0747



海軍

一葉水兵

平川源太郎

二葉水兵

富松作太郎

三

藤本金矢

四葉水兵

岩永東

五

萩原喜右門

六葉水兵

田部善太郎

七葉水兵

尾崎瑞年太

八

田中寛年

九葉水兵

松原貞典

十

北村壺次郎

十一葉水兵

松崎茂楠

(在位保 艦成會館)

0748

5

計  
指  
七  
分

4  
4

4  
4

0749

